

薩摩川内

さつませんたい

11

2024(令和6)年
vol.482

伝統の祝と唄

祝 薩摩川内市誕生20周年記念式典
わくわく、つなぐこの先も



慶びと安寧を願ふ



本市が誕生した2004年10月12日から20年の月日が経ちました。
この20年間のさまざまな出来事を紹介します。市ホームページでも年表を掲載していますので、ご覧ください。



▲市ホームページ

2004(平成16)年

- ・薩摩川内市誕生
- ・森卓朗初代市長就任

2005(平成17)年

- ・市章・市民憲章を制定
- ・市内48地区全てにコミュニティ協議会設立
- ・蘭牟田池がラムサール条約湿地に登録

2006(平成18)年

- ・ファミリー・サポートセンター開所
- ・市総合計画・基本計画決定
- ・川内大綱引が県指定無形民俗文化財に指定

2007(平成19)年

- ・蘭牟田瀬戸架橋事業着手式を開催
- ・県立川薩清修館高校が開校
- ・南九州西回り自動車道(薩摩川内都IC)・串木野IC)開通

2008(平成20)年

- ・岩切秀雄市長就任
- ・東郷文弥節人形浄瑠璃が国の重要無形民俗文化財に指定

2009(平成21)年

- ・市内の全小中学校で小中一貫教育を開始
- ・市民歌「輝け未来へ」制定
- ・甑島で恐竜の化石発見
- ・甑島のトシドンがユネスコ無形文化遺産に登録

2010(平成22)年

- ・子ども医療費助成制度開始(県内初)
- ・防災行政無線戸別受信機の設置開始
- ・韓国定期コンテナ船「週2便化」

2011(平成23)年

- ・九州新幹線全線開業
- ・観光船「かのこ」就航

2012(平成24)年

- ・川内汚泥再生処理センター供用開始
- ・韓国昌寧郡との友好都市協定の締結
- ・市スポーツ交流研修センター供用開始

2013(平成25)年

- ・住民票写しなどのコンビニ店舗での交付(県内初)
- ・「サンアリーナせんだい」がバレーボール強化センター(リオ五輪)に認定
- ・中国定期コンテナ航路・国際(神戸)フィードライン航路開設
- ・南九州西回り自動車道(薩摩川内高江IC)・薩摩川内水引IC)開通

2014(平成26)年

- ・高速船甑島就航
- ・市消防庁舎移転
- ・旧増田家住宅が国の有形文化財に指定

2004～2024

20年の歩み



2015(平成27)年

- ・甑島が国定公園に指定
- ・南九州西回り自動車道(川内高江IC)・薩摩川内都IC)開通
- ・台風15号襲来。長引く停電。
- ・国民文化祭・かごしま2015開催

2016(平成28)年

- ・天辰寺前古墳公園が開園
- ・市350ページライフ宣言
- ・子ども医療費助成対象年齢を18歳まで拡充
- ・台湾定期コンテナ航路が開設
- ・川内とれたて市場がオープン

2017(平成29)年

- ・樋脇グラウンド・ゴルフ場オープン
- ・川内港から中国常熟港へ直行便による木材輸出が開始

2018(平成30)年

- ・市総合防災センター開所
- ・幼児教育無償化の一部を先行実施
- ・「来訪神・仮面・仮装の神々」ユネスコ無形文化遺産登録(2009年登録の「甑島のトシドン」の拡張登録)

2019(平成31・令和元年)

- ・東郷学園義務教育学校が開校
- ・「薩摩の武士が生きた町」武家屋敷群「麓」を歩く」が日本遺産認定(入来麓、里麓、手打麓)
- ・重要港湾川内港30年ぶりの港湾計画改訂

2020(令和2)年

- ・入来神舞が県の無形民俗文化財に指定
- ・県内最長の甑大橋が開通
- ・田中良二市長就任

2021(令和3)年

- ・川内駅コンベンションセンター「SSプラザせんだい」がオープン
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種開始
- ・市公式LINEを導入し、広報活動を実施
- ・甑島振興局を開庁

2022(令和4)年

- ・川内港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2021」を受賞
- ・市内全域の光ファイバ網が完成
- ・国のSDGs未来都市に選定

2023(令和5)年

- ・入来麓交流館が開館
- ・甑島に外国籍クルーズ船初寄港
- ・デジタル地域通貨「つんPay」運用開始(子育て応援券、産後ケア応援券)
- ・特別国民体育大会、特別全国障害者スポーツ大会
- ・九州・台湾クリエイティブウィーク in 薩摩川内

2024(令和6)年

- ・川内大綱引が国の重要無形民俗文化財に指定
- ・祁答院小学校が開校
- ・子ども家庭センターを設置



薩摩川内市誕生 20周年記念式典

10月12日、SSプラザせんだいで薩摩川内市誕生20周年記念式典を執り行いました。一部の式典では、市政発展のために功績のあった方々を市政功労者として表彰しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る協力団体、特別国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体開催に係る協力団体に対して特別表彰感謝状の贈呈を行い、来賓からの祝辞などもありました。

市政功労者

(敬称略・順不同)

〈主な役職／氏名〉

【地方自治部門】

元市議会議員	永山 伸一
元市議会議員	今塩屋 裕一
元市議会議員	福元 光一
元市議会議員	持原 秀行
元市選挙管理委員会委員	大久保 捷子
元副市長	知識 博美
消防団大隊長	平嶺 元章
消防団方面隊長	別府 生次
消防団方面隊長	白瀬 良照
元地区コミュニティ協議会会長	草留 嘉徳
元地区コミュニティ協議会会長	諏訪 六雄

元自治会長	今井 塵子
元自治会長	由井蘭 洋司
元自治会長	慶田 好美
元自治会長	水溜 貞美
元自治会長	下田 幸男
元自治会長	瀬戸東 秀司
元自治会長	中塚 常夫
元自治会長	出口 政和
元自治会長	内田 正秋
元自治会長	田中 正憲
元自治会長	廣瀬 春雄
元自治会長	西原 義尚
元自治会長	岩元 正純
元自治会長	馬場 利雄
元自治会長	柳 幸次郎
元自治会長	下野 幹夫
元自治会長	橋野 勝彦
元自治会長	飯屋 立夫
自治会長	有村 義博
自治会長	山口 富貴夫
自治会長	高木 得次

自治会長	下満 和美
自治会長	今井 浩生
自治会長	谷口 信一
自治会長	山口 隼人
自治会長	寺川 一徳
自治会長	上田 勇治
自治会長	時吉 正男
自治会長	福山 弘昭
自治会長	小園 清秀
自治会長	山口 正喜
自治会長	山元 一彦
自治会長	平山 美茂
自治会長	橋口 誠人
自治会長	大重 修二
自治会長	宮野 光祥
自治会長	宮野 ナチ子
元市情報公開・個人情報保護審査会会長	桐原 洋一
元市都市計画審議会委員	平野 哲寛

【教育文化部門】

市景観審議会会長	中俣 知大
市景観審議会委員	永田 善三
天辰第一地区土地地区画整理審議会会長	上西 克幸
元教育長	上屋 和夫
元教育委員会委員長	三本 伴子
元教育委員会委員	柳田 利久
市スポーツ少年団本部長	勝田 芳孝
市文化財保護審議会会長	持永 八洲郎
市文化財保護審議会委員	丸目 直樹
元市軟式野球連盟会長	堂園 喜明
市美術協会理事	寺田 幸史
川内川に鯉のぼりを上げる会会長	貴島 浩一
団体	川内大綱引保存会

【社会福祉部門】

元民生委員・児童委員	東 洋一
民生委員・児童委員	内田 里子
民生委員・児童委員	梶原 尚美
民生委員・児童委員	郭 長治
民生委員・児童委員	若田 吉朗
民生委員・児童委員	窪田 美由喜
民生委員・児童委員	藤井 清子
保護司	福山 義幸
保護司	藏元 保海
市母子寡婦福祉会会長	奥園 和子
医師	福山 廣
医師	前畠 良裕
元川内市医師会会長	久留 敏弘
元市食生活改善推進員協議会会長	森永 靖子

市食生活改善推進員協議会会長

福岡 照美

市食生活改善推進員

谷口 ヨツ子

戦没者遺族相談員

出原 菊芳

【産業経済部門】

元市農業委員会会長	有村 四男
市農業委員会委員	薬師寺 しげ子
元薩摩川内市商工会会長	今藤 尚一

薩摩川内市建設業協会会長

宇都 充弘

建設業を通じて地域社会に貢献

建設業を通じて地域社会に貢献

丸目 英隆

薩摩地区獣医師会会長

桑原 貴久雄

【一般篤行部門】

京都視覚障害者支援センター理事

松永 信也

特別表彰

(敬称略・順不同)

【新型コロナウイルスワクチンの接種体制の構築などに尽力】

公益社団法人川内市医師会
公益社団法人薩摩郡医師会
一般社団法人川内薬剤師会
薩摩郡薬剤師会
薩摩川内市歯科医師会
鹿児島純心大学

【特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の本市開催に尽力】

特定非営利活動法人薩摩川内市スポーツ協会
一般社団法人鹿児島県バスケットボール協会
一般社団法人鹿児島県軟式野球連盟
鹿児島県軟式野球連盟
鹿児島県ホッケー協会
鹿児島県ウエイトリフティング協会
薩摩川内市バスケットボール協会
薩摩川内市軟式野球連盟
薩摩川内市ホッケー連盟
薩摩川内市ウエイトリフティング協会
薩摩川内市スポーツ推進委員協議会
薩摩川内市48地区コミュニティ協議会連絡会
社会福祉法人薩摩川内市社会福祉協議会
公益財団法人薩摩川内市民まじづくり公社
特定非営利活動法人川内スポーツクラブ01
薩摩川内市校長会(小・中学校)
川薩地区高等学校校長会
学校法人川島学園
鹿児島純心大学
公益社団法人川内市医師会
薩摩川内市歯科医師会
川内商工会議所
薩摩川内市商工会
株式会社薩摩川内市観光物産協会



薩摩川内市誕生 20周年記念イベント

二部のイベントは、薩摩川内火けし保存会 木遣り隊 纏隊による木遣り唄で始まり、キンボンシ、Everybodyによるお笑いライブ、お笑いライブの出演者と記念式典ボランティアによるトークセッションを行いました。

木遣り唄

平成28年に発足した「薩摩川内火けし保存会」は、「木遣り隊」「纏隊」「腕用ポンプ隊」で構成されています。消防隊を活性化し、魅力ある組織として活動するため、伝統の演技披露などを通して、火災予防の啓発を行っています。

式典では、「木遣り唄」と「纏振り」の演技を披露していただきました。

「木遣り」とは、重い木や岩を大勢で運ぶ際、息を合わせるために唄った労働歌で、祝い唄などに形を変えながら、唄い継がれています。

「纏」とは、江戸時代に町火消しを使うようになり、纏を振ることで火災現場の目印となり、また仲間を鼓舞する役目になっていったといわれています。



▲纏を振る様子



保存会からひと言

かつては労働歌だった木遣り唄を、祝い唄として現代にも受け継いでいることを誇りに思います。

木遣り唄を通して、皆さんに私たち保存会の士気が伝われば幸いです。

21年目のスタートを切る薩摩川内市とともにこれからも明るく、和気あいあいと活動していきたいと思っています。

トークセッション

将来の夢や、夢に向かって努力することの大切さなどについて、お笑いライブの出演者と20周年記念式典ボランティアによるトークセッションを開催しました。



夢は社会福祉士になること。生活する中で、悩みを抱える人がたくさんいることに気付いた。そんな人たちに必要な支援を行えるように一生懸命勉強中です。



何でもいから有名になりたい！人前に出るのが大好きなんです。それと、保育士になることも私の夢です。持ち前の性格を生かして、みんなが笑顔で楽しく過ごせるような保育士になりたい。



昔から変わらない夢がある。それは、薩摩川内市に貢献できる人になること。いろいろな場所で経験を積み、知識を得て、またここに帰ってきます。

ボランティアを通して

- 市誕生20周年と自分自身も20歳ということに縁を感じた
- 和装でボランティア活動をする機会なんて珍しくて新鮮だった
- 「着物姿がすてきね」とたくさん褒めていただけた
- 多くの人に愛されている薩摩川内市であることを実感した
- とても緊張したけれど、和装でのボランティアや芸人さんとのトークセッションという新しい経験に、新しい人との出会い、どれも新鮮でとても楽しかった
- 市誕生20周年という節目に携わることができてうれしかった
- これからも薩摩川内市とともに成長していきたい

などなど、たくさんの感想をいただきました。



▲受け付け案内の様子

式典を盛り上げたボランティアの皆さん

記念式典では、鹿児島県美容生活衛生同業組合川内支部の協力のもと、無償で和装に着付けをしてもらったボランティア9人が大活躍でした。当日は、来場者の受け付け案内や式典終了後の見送りなど、式典を盛り上げるためにさまざまな活動をしていただきました。

将来何になるのー？



▲キンボンシ



▲みんなでクリティカルヒットをする様子

おいはいのこつが ず〜〜と
わっぜ！わっぜ！わっぜ！すっじゃ！×2
クリティカルヒット！やった〜！

お笑いライブ

キンボンシによる鹿児島島のコミカルなネタに関連したネタやEverybodyの持ちネタである「クリティカルヒット」の本市バージョンなどが披露されました。観客を巻き込んだネタに、会場は笑いに包まれ、大いに盛り上がりしました。



▲Everybody

市誕生20周年記念市主催事業を紹介します

記念植樹

5月5日(日)、寺山いこいの広場で、市誕生20周年を記念した植樹を行いました。未来を担う子どもたちと一緒に、本市の市木である「クロガネモチ」4本を植樹し、参加者には本市産ヒノキを使用したお守りなどの記念品を贈呈しました。



▲植樹に参加した子どもたち



▲植樹したクロガネモチ



▲植樹をしている様子

国重要無形民俗文化財指定記念 川内大綱引を未来へ綱GO!

令和6年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された川内大綱引。

6月30日(日)、SSプラザせんだいで、「川内大綱引を未来へ綱GO!」と題して、シンポジウムを開催し、川内大綱引の魅力や映像の解説、パネルディスカッションなどを行いました。映画「大綱引の恋」の上映後、映画に出演した俳優の升毅さんの舞台あいさつも行われました。また、太鼓体験や綱練りの模型などの展示も実施し、その価値や魅力を再認識しました。

9月22日(日)には、425年目の川内大綱引が開催され、日中は大雨の中、多くの市民が綱練りに参加し、夜は、上方と下方の一番太鼓の合図で熱戦が繰り広げられました。



▲升毅さん



▲太鼓体験の様子



▲425年目の川内大綱引の様子

薩摩川内ファンデー

7月21日(日)、東京都で、薩摩川内ファンデーを開催しました。

このイベントでは、本市の特産品の販売や観光案内、移住相談などを実施しました。特産品の販売にはイベント開始前から行列ができ、来場者からは「甕島や兜を見に行ってみたい」「場所が分かって親しみが持てた」などの声が聞かれました。「故郷が懐かしい」と思い出話に花を咲かせる本市出身の方も多く来場され、本市の魅力を最大限に発信することができました。



市の魅力を
たくさん発信
できたっん



薩摩川内音楽祭

コカフェス2024

9月28日(土)・29日(日)、SSプラザせんだいで、薩摩川内音楽祭コカフェス2024を開催しました。これは次世代を担う本市の若者とアーティストが一体となったミュージックフェスで、SS広場では、吹奏楽や軽音楽、合唱などが披露されました。SSプラザせんだいでは、人気アーティストによるライブ演奏に加え、市内学生との合唱や、川内商工高等学校軽音楽部のベースストとのコラボレーションも行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



今後開催する市誕生20周年 記念主催事業

「清色城跡」国指定20周年記念事業
薩摩川内サムライアカデミア〜入来麓絵巻〜
日時：11月9日(土)13時〜17時
場所：入来文化ホール
内容：清色城跡や入来麓武家屋敷群の歴史と文化を分かりやすく楽しむための講演会や伝統芸能演舞、パネルディスカッションの開催
※同時開催イベントの詳細は、市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

「丸山ニニ」の森づくり」市民植樹祭
日時：令和7年1月26日(日)10時〜11時30分
場所：丸山公園隣接市有林(樋脇町塔之原)
内容：市民が憩いと安らぎを感じられる森づくりを目指した植樹

市主催事業や市誕生20周年記念の冠を付した行事は令和7年3月末まで開催します。詳細は市ホームページに掲載しています。ぜひ参加して、市誕生20周年をさらに盛り上げましょう。



▲市誕生20周年記念サイト



▲市誕生20周年記念事業カレンダー

SDGsの達成に向けて

10月4日(金)、明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。

今後は、同社と連携を図りながら、SDGs・カーボンニュートラルの普及啓発や産業・観光振興の取り組みを進めていきます。



本市の魅力が詰まったフレーム切手

10月4日(金)、本庁で、市誕生20周年記念フレーム切手の贈呈式を行いました。

このフレーム切手は、市誕生20周年を記念して日本郵便(株)九州支社が作成したものです。

切手には、本市の風景や行事などの写真が使用され、魅力あるフレーム切手となりました。



子どもたちの安全のために

10月8日(火)、(株)稲盛工業から交通安全旗100本の寄贈がありました。

この交通安全旗は、児童の安全安心な登下校を願って寄贈されたもので、市内の各小学校・義務教育学校に配布しました。



平和なまちを、後世につなぐ

10月9日(水)、S S プラザせんだいで、薩摩川内市戦没者追悼式を執り行いました。

式には遺族、来賓、市内の小学6年生約140人を含む約400人が参列し、歴史資料館の学芸員による戦時の資料解説や市内の中学校吹奏楽部による慰霊演奏が行われました。また、小学生代表4人は「平和なまちを、後世につなぐことが私たちの役割」と平和に対するメッセージを読み上げました。



市民と消防職員の連携で命を救う

10月9日(水)、市消防局で、一般消防協力者および消防職員表彰式を行い、感謝状と記念品を贈呈しました。

この表彰は、心肺停止で倒れた男性を古川誠さん、宇都宮 稔さん、通勤途中の消防職員2人が連携して通報、心肺蘇生を行ったことを称えたものです。

速やかな救命処置のおかげで、男性は病院搬送後、一命を取り留め社会復帰しました。



21年目も笑顔でスタート

10月12日(土)、川内川右岸河川敷で、市誕生20周年を記念したサプライズ花火が打ち上げられました。

これは、(株)太洋花火、(有)六葉煙火、西日本花火(有)の花火事業者により打ち上げられたもので、約300発の花火が夜空を彩り、本市の20歳の誕生日に花を添えていただきました。



子どもたちが興味津々！化石講演会

9月22日(日)、S S プラザせんだいで、真鍋真氏(国立科学博物館副館長)による化石講演会を開催しました。

講演では、甕島で発見された恐竜化石や、最新の恐竜研究に関する説明が行われました。質問コーナーでは子どもたちから次々と質問され、講師からの回答にも熱心に耳を傾けました。

令和7年4月には、甕ミュージアムが開館します。



大盛況！鳥丸ふるさと祭り

9月22日(日)、旧鳥丸小学校体育館で、鳥丸ふるさと祭りを開催しました。

当日は天候不良の中、200人近くの来場客があり、ふるまいのおにぎりや味噌汁、各団体の舞台発表などを楽しみました。また、劇団とんぼによる振り込め詐欺防止の演劇には、鳥丸駐在所の職員も出演し、会場は大いに盛り上がりました。



【情報提供：鳥丸地区コミュニティ協議会】

市のさらなる発展のために

9月24日(火)、(株)福重電工から市誕生20周年の記念と市のさらなる発展のために活用していただきたいと寄附金の贈呈がありました。

今回いただいた寄附金は、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、市民ニーズの多様化などに対して、未来の姿の実現を目指した政策に役立てられます。



3000人の熱い戦い

9月22日(日)、国道3号向田側で、425年目の川内大綱引が開催されました。

令和6年3月に、国の重要無形民俗文化財に指定されてから初めての開催となりました。およそ3000人が上方と下方に分かれ、熱い戦いを繰り広げました。今年は下方の勝利で幕を閉じました。



技能実習生、日本文化を体験

9月23日(月)、市国際交流センターで、多文化共生事業在住外国人交流会を開催しました。

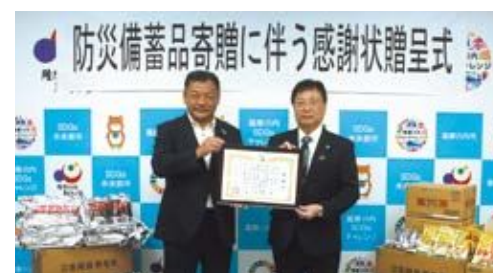
これは、市内に在住する外国人技能実習生を対象に日本文化を体験・交流してもらうもので、48人が参加しました。鹿児島純心大学の学生の協力のもと、浴衣の着付けや書道の体験、防犯・交通教室でルールを学ぶなど楽しい1日を過ごしました。



もしもの時の備えを寄贈

10月2日(水)、(株)植村組から防災備蓄品が寄贈され、感謝状贈呈式を行いました。

寄贈いただいた防災備蓄品は、いつ起こるか分からない災害に備え、いざという時に一人でも多くの市民の皆さんへ届けてほしいと送られたもので、発電機や非常食などが寄贈されました。



人のとなりに

佐々木 健太さん



「人のとなりに」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

▲佐々木さん(右側前から4人目)と委員の皆さん

「生まれたときから本市で過ごし、現在は鹿児島純心大学で心理学について学んでいます」と話すのは、今年度の二十歳のつどい実行委員の委員長を務める佐々木健太さん。

人と関わるのが好き

佐々木さんは、「将来就きたい職はまだ決まっていらないが、大学で学んでいることを生かしながら接客ができる職をこれから見つけていきたい」と話します。

今回、実行委員になったきっかけは大学の友人からの誘いがあつたからだそうです。「元々人と話すことが好きだったので、断ることなく参加しようと思いました。同い年のみんなと楽しく実行委員として取り組んでいきたいです」と言います。

今年度は佐々木さんを含め11人が委員として「二十歳のつどい」に向け、パンフレットの作成や動画制作などを行っています。

大好きなふるさと

小中学校は市内の学校に通い、高校は水産について学ぶため、市外の高校に通っていたそうです。

高校では、1カ月以上船に乗る実習があり、日本1周する実習もあったといいます。部活は、小学生の頃から取り組んでいたバスケットボールを続け、文武両道に励んだエピソードも話してくれました。

市外の高校に通い、「やっぱり生まれ育った薩摩川内市が好き」と、感じるようになったそうです。「高校で地元を離れ、帰省するたびに「いい街だなと感じます。友人がたくさんいることが大きいですが、自然も豊かで、新幹線が通っているなど交通の便が良いところも魅力的です。市外に住んだことをきっかけに、薩摩川内市が自分の居場所だなど強く感じました」と郷土愛を語ってくれました。



二十歳を迎えて

「今年で二十歳になり、一番にしたいことは「親孝行」。これまでさまざまな面で迷惑を掛けてきたので、親への恩返しをしたい」と言います。

「今回、二十歳のつどいの実行委員長を務めさせていただきますが、このように頑張っている姿を親に見せることも親孝行の1つかなと思っています」と、笑顔を見せながら話してくれました。

本市も今年で二十歳を迎えるにあたり、「薩摩川内市が誕生して二十歳を迎えるということで、自分も記念すべき年に同じ二十歳を迎えることができうれしです。特別な年だからというわけでもないですが、学業や就職で市外、県外に行った同級生のみんなに1人でも多く1月12日に戻ってきてもらえるように委員のみんなと協力しながら活動を行っていききたい」と意気込みを語ってくれました。



▲高校時代の佐々木さん

深ボリ! 企業のチカラ

第71回 株式会社アシスト設計

今回は、株式会社アシスト設計を「深ボリ!」。代表取締役会長の今村裕さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、昭和58年に設立し、今年で創業41年目になる、地域に根差した設計事務所です。

地域の風土を理解し、地震や台風、火災といった災害を考慮した建設設計を行っており、SSプラザさんだいははじめ、本市の建築物に多く携わっています。さらに、工事監理や建設に係る手続きの申請なども行っているため、大型の建設設計も行うことができます。

また、グループ会社の(株)ハウスサポートと連携して、住宅の新築やリフォームなどの設計や施工、アフターフォローまで一貫したサービスを提供しています。



▲設計業務の様子

女性目線を取り入れた設計

当社が手掛ける建築物は、災害に強く、高い安全性があることはもちろんのこと、依頼者との打ち合わせを繰り返して、満足できるプランニングを行いながら設計しています。

特に住宅建築に関しては、女性設計士が打ち合わせに参加し、女性目線を取り入れることで、家庭での動きの最適化を図り、住み良い家作りをサポートしています。

働きやすい職場のために

当社は、女性社員が多いため、時短勤務の許可や産休・育休制度を導入し、子どもがいる社員が働きやすい職場環境を整えています。また、資格手当があり、業務に関する資格の取得を奨励しています。

他にも、社員が仕事に気付いたことを朝礼で発表するなどして、職場環境の改善に取り組んでいます。

今後の抱負

現代は、いつ、どこで自然災害が起こってもおかしくない状況にあります。設計事務所として、豊富な経験と知識、高い技術力を発揮し、災害に強く住みやすい住宅、建築物を設計していきます。

建築物は長く使っていくにあたり、建築後のメンテナンスも大切です。当社はグループ会社と連携して、被災して困ったときにこそ頼れる地元企業として頑張っていきます。

株式会社 アシスト設計

- Information -

代表者：代表取締役会長 今村裕
所在地：平佐町 3282 番地 3
従業員数：11人
連絡先：☎(20) 1756



ホームページ▶

Instagram▶

社員からのメッセージ



入社5年目
おびた なぎささん

私は、専用ソフトを使った図面作成や構造確認、建築基準法の適合確認申請書類の作成などの設計業務の補助を担っています。

当社は、女性社員が多く、仕事や子育てのことを相談でき、急な休みにもお互いにフォローして休むことができます。子育てしている女性が働きやすい職場環境だと感じています。



広げよう！火災予防の心

市消防局では、地域の皆さんにご協力をいただきながら、定期的な立入検査を実施しています。



立入検査とは、消防法第4条や第16条の5に基づき、防火対象物（飲食店、病院、マンションなど）や危険物施設（ガソリンスタンドなど）などに対し、建物や消防用設備などが法令の基準に適合しているか検査することです。これらに対して、消防職員が、定期的に消防法で定められた立入検査を実施しています。火災予防上の観点から指導し、改善してもらうことで火災を未然に防ぐことにつながります。この立入検査が、火災予防の根幹となっています。



▲立入検査の様子

日頃からの点検が大切です

①避難経路に障害物はありませんか？

避難経路に障害物がないことを確認することは非常に重要です。「避難する時にどかせばいい」ではなく、あらゆる場面を想定して、廊下や階段などに障害物がないか確認し、逃げ遅れがないようにしましょう。

②放火の原因になるものはないですか？

放火は出火原因の上位です。建物の共用部などに燃えやすい物やごみを放置しないようにしましょう。また、ゴミ捨て場には放火犯が近づけないよう、施錠やセンサーライトを設置するなどの対策も効果的です。

③消防設備が正常に稼働しますか？

いざというときに、消火器や火災報知器などの消防設備がすぐ使えるように、動作確認をしておきましょう。また、火災の広がりを防ぐ防火扉がしっかり閉まるか、扉自体がストッパーで固定されていないかなどの閉鎖動作に支障がないかも事前に確認しておきましょう。

④消防訓練を実施しましょう

皆さんが利用するお店やホテル、病院などは、消防計画に基づいて、消火、通報、避難の訓練を実施することが義務付けられています。各事業所で実施される訓練に定期的に参加して、避難方法などを確認しましょう。※大型店舗や宿泊施設、福祉施設などは、避難訓練および消火訓練を年2回以上実施する必要があります。

上記以外にも、必要書類や防火管理体制の確認などを行い、火災予防上の危険を取り除いています。また、立入検査をする際は、建物関係者に事前連絡をしてから行っています。

これらの確認や訓練などは、事業所で働くときなどに皆さんも心掛けておくことができます。火災が起きた時に慌てないように、しっかり確認しておきましょう。

立入検査で指導を受けたらどうなるの？

もし指導を受けた場合、後日、消防署から立入検査結果通知書が発行されます。指摘事項改善に向けての計画などを記載した改善計画書を消防署に提出してください。その後、消防署が追跡調査を行い、早期改善を目指します。過去には違反が長期間に渡り改善されず、書類送検された事例もあります。防火対象物の増築や改築、テナントの変更などがあった場合、新たな消防用施設の設置義務などが生じることがありますので、そのような際は、管轄の消防署にご相談ください。

ストップ！滞納

市民の皆さんが納めている税金は、より良いまちづくりのために活用されています。しかし、税金の納付が滞ってしまうと公共サービスを提供するための財源が不足し、皆さんの生活に多大な影響を及ぼすことになってしまいます。

納期限内に納付した人との公平性を保ち、市税の収収を確保するためにも、市では税法に従い、適正な滞納整理を行っています。

必ず、期限内の納付をお願いします。

税金の納付が遅れると

▼延滞金加算されます

納期限を過ぎて納付すると、その遅延した税額に対して延滞金加算されます。納期限の翌日から納める日までの期間の日数に応じて計算します。

令和6年の延滞金の率は、8・7%（納期限後1カ月以内は2・4%）の割合です。

税金を納めずにいると

▼公売などの強制換価処分を受けます

公売などの強制処分は、大切な市税を確保するためにやむを得ず行う最終的な処分です。



▲タイヤロックで差し押さえを行った自動車

タイヤロックの実施

タイヤロックとは、差し押さえた自動車のホイールを専用装置で固定し、ドアミラーに差押公示書を装着して運行を不可能にする行為です。

催告に応じない場合、自動車の差し押さえを実施しています。

滞納処分までの流れ

①督促状の発送

納期限を過ぎて完納されない場合は、督促状が送付されます。

②催告

督促状が送付されても納税がない場合、電話や文書により催告を行います。

③財産調査・搜索

金融機関や勤務先、取引先などに対して財産調査を行います。また、自宅や事務所を搜索する場合もあります。これらは国税徴収法・地方税法に基づき実施され、個人情報保護法の適用は受けません。

④財産差し押さえ

督促状が発送されてから、10日を経過しても完納されない場合、財産差し押さえる対象になります。

⑤公売・換価

差し押さえた不動産などの公売や、預金・給与の取り立てを行い、滞納税に充てます。

口座振替、決済アプリをご利用ください

忙しくて納付に行く時間がない人には、便利な口座振替やスマートフォン決済アプリをお勧めしています。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ

滞納Q&A

Q 納期限を過ぎてから納付したため、延滞金加算されました。延滞金も納付しなければならぬのですか。

A 税金は、納期限内納付が原則です。納期限内に納付している人との公平性を保つため、発生した延滞金も納付してもらいます。

Q 本人の許可なしに財産を勝手に調べられました。プライバシーの侵害ではないでしょうか。

A 税金を滞納すると、国税徴収法・地方税法に基づき、財産調査権限が発生します。この権限により、調査を受ける勤務先や金融機関などは協力しなければならぬため、税金滞納がある場合の財産調査は、法律には一切抵触しません。

Q 「納税お知らせセンター」から税金に関する電話が掛かってきたのですが。本市から委託を受けた民間事業者です。納期限が過ぎ、督促状発送後も市税などの納付確認が取れない方に対して、納付の呼び掛けを行っています。

納期限内での納付が困難な特別な事情がある場合は、そのまま放置せずに収納課へご相談ください。換価・納税の猶予が受けられる場合があります。

問合せ／本庁収納課納税G

（内線2450、2451）